

# 分解図

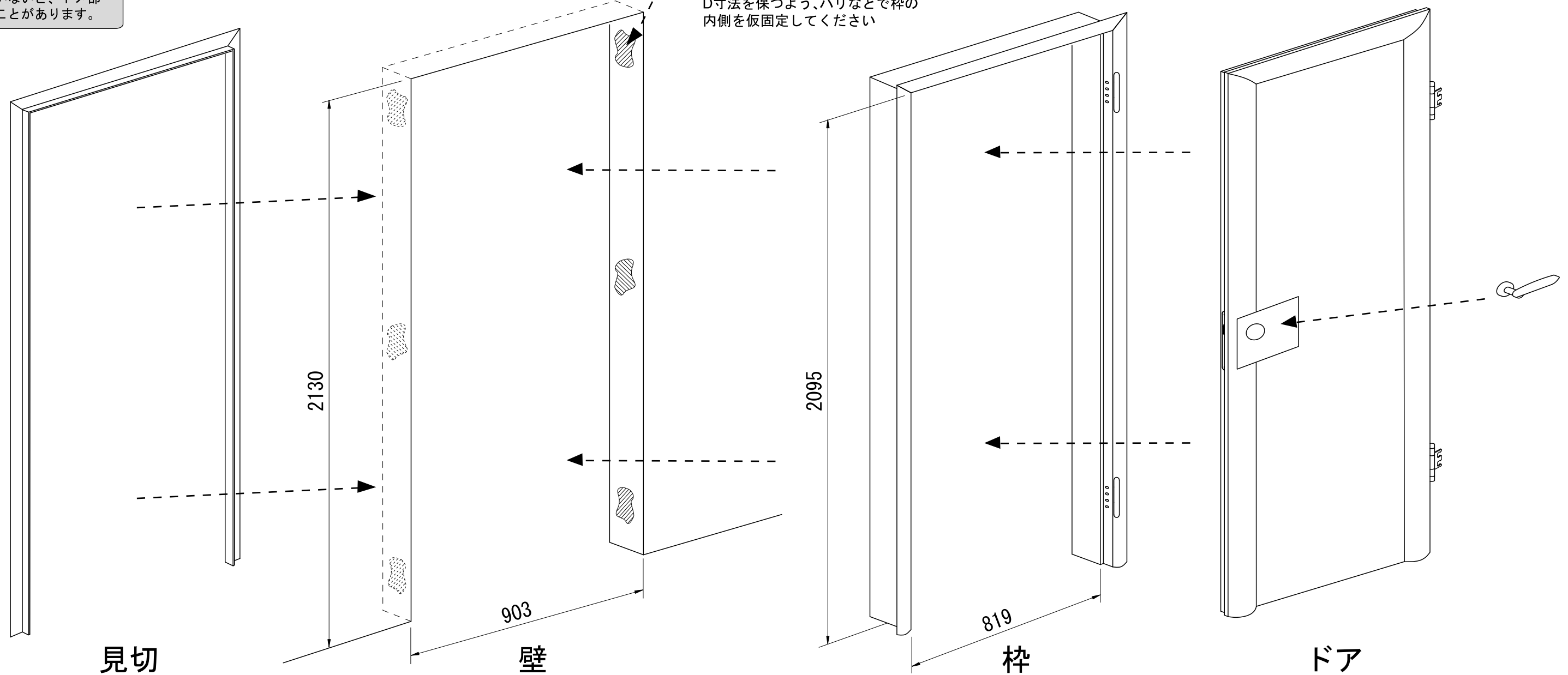
ガラス有り：Avantgarde用

※ 組立ての詳細は、施工マニュアルをご参照ください。

❗ 枠及び見切の組立て後は、接着剤が硬化するまで保管してください。硬化していないと、トメ部がズレることがあります。

枠を組み込んだ後に発泡接着剤を注入してください（6ヶ所）

※発泡接着剤は膨張しますので下記D寸法を保つよう、バリなどで枠の内側を仮固定してください



見切

壁

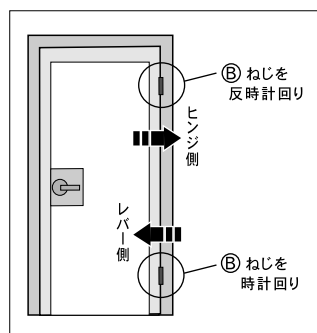
枠

ドア

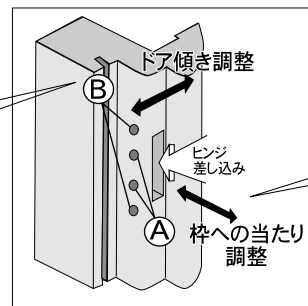
## ドアの傾き調整

2つのヒンジのそれぞれ1番目と4番目の穴のネジ（㉔ネジ：合計4箇所）でドアの傾きを調整してください。

- ネジを左回し（反時計方向）：ドアがヒンジ方向へ動きます
- ネジを右回し（時計方向）：ドアがレバー方向へ動きます

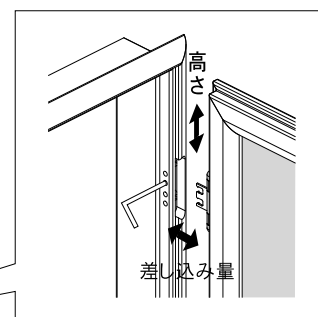


枠側のヒンジ差込位置にある、㉔㉔8つの穴に六角レンチを差込み、ネジを回すことにより、ドアの調整を行うことができます。



❗ ㉔ネジは、上下均等に（半回転ずつ）回してください。ネジが破損するおそれがありますので決してきつく締めないでください。

## ドアの吊り込み・高さ・奥行き調整



㉔ネジを緩め、ヒンジの差し込み量を調整して、枠への当たりを調整することができます。

※ 高さ調節は、㉔ネジを緩めた後、ドアの底にクサビや板等を入れて行ってください。

❗ 調整後は、上下2箇所（㉔ネジ：合計4箇所）を確実に締め込んでください。

## <施工参考（施工順）>

1. ドア枠の取付
2. ドアの仮吊り込み（ドア高さ、置の調整）
3. 発泡接着剤の注入
4. ドアの吊り込み（ドア高さ、置の調整）
5. 見切の取付

※ ドアの下に板等を置くと吊り込み易くなります。

※ レバー取付けの詳細は、レバーの施工マニュアルをご参照ください。